

西武新宿線（野方駅から井荻駅間）の連続立体交差化について

1 これまでの経過

中野区北部を東西に横断している西武新宿線は、区内に5つの駅を擁し、重要な交通手段となっているが、20か所の踏切があり、朝夕ラッシュ時に開かずの踏切となり問題となっている。

こうした中、東京都は中井駅から野方駅間について、平成25年度から連続立体交差事業に着手し、また、野方駅から井荻駅付近について、平成29年度に国から着工準備採択を受け、構造形式や施工方法の検討を進めており、過年度実施した調査において、野方駅直近の野方第1号踏切は残存することとしている。

一方、区では、野方第1号踏切の除却は、まちづくりを進める上で重要な課題であることから、東京都の協力を受けて西武鉄道株式会社と協定を締結し、具体的な検討を開始した。

また、事業範囲や費用負担に関する課題等について、東京都、西武鉄道株式会社と意見交換をしている。

2 今年度の取組

区は、野方駅から井荻駅付近について、早期に計画の具体化を図るため、今年度、令和7年8月に西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会を開催し、関係機関と意見交換を行い、野方第1号踏切の除却を含めた鉄道の立体化について積極的に取り組んでいく旨を決議し、11月に西武鉄道株式会社と東京都へ要請した。

また、8月には中野区と西武鉄道株式会社との協定を完了し、本調査において野方第1号踏切の除却は、技術的に実現可能であることを確認した。

今後も引き続き、東京都及び西武鉄道株式会社と連携・協力しながら、野方第1号踏切の除却を含めた野方駅から井荻駅付近の鉄道立体化について取り組んでいく。

令和7年 8月 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会を開催
西武鉄道株式会社と協定完了

11月 西武鉄道株式会社、東京都へ要請活動